

島根県保健医療計画における数値目標の達成状況について

【保健医療計画に記載された数値目標】(平成30年4月策定・令和3年10月見直し)

青字：目標に向けて概ね順調に推移しているもの

項目	現状 (策定時)	中間実績	目標	令和4年3月現在に おける直近把握数値	備考
①平均寿命	男 80.13歳 女 87.01歳	—	男 81.58歳 女 88.29歳	男 81.01歳 女 87.61歳	SHIDS（島根県健康指標データシステム）平成27（2015）～令和元（2019）年の5年
②65歳の平均自立期間	男 17.46年 女 20.92年	—	男 18.69年 女 21.06年	男 18.00年 女 21.25年	SHIDS（島根県健康指標データシステム）平成27（2015）～令和元（2019）年の5年
<がん>					
①悪性新生物75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）	男 105.2 女 54.9 (平成27(2015))	男 89.2 女 47.7 (平成30(2018))	男 86.1 女 50.4	男 83.4 女 50.3 (令和元(2020))	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
②がん年齢調整罹患率（人口10万対）	胃がん 60.9 肺がん 37.1 大腸がん 51.8 子宮頸がん 8.1 乳がん(女) 73.2 肝がん 18.4 (平成25年集計)	胃がん 56.5 肺がん 49.1 大腸がん 59.6 子宮頸がん 12.1 乳がん(女) 82.2 肝がん 17.2 (平成28年集計)	低減	胃がん 55.6 肺がん 41.6 大腸がん 55.2 子宮頸がん 10.5 乳がん(女のみ) 93.2 肝がん 13.8 (平成30年集計)	島根県がん登録
③臨床進行度 早期がん（上皮内がん及び限局）の割合	胃がん 55.1% 肺がん 32.6% 大腸がん 59.3% 子宮頸がん 80.8% 乳がん(女) 60.3% (平成25年集計)	胃がん 60.3% 肺がん 42.0% 大腸がん 59.0% 子宮頸がん 86.3% 乳がん(女) 68.1% (平成28年集計)	各がん 10%増加	胃がん 61.1% 肺がん 40.8% 大腸がん 54.8% 子宮頸がん 83.7% 乳がん(女) 61.0% (平成30年集計)	島根県がん登録
④全がん5年相対生存率	全がん 62.3% (平成20年診断症例)	全がん 60.2% (平成24年診断症例)	増加	全がん 63.4% (平成25年診断症例)	島根県がん登録
<脳卒中>					
①脳血管疾患年齢調整死亡率（人口10万対）	男 43.0 女 22.7 (平成27(2015))	男 37.4 女 20.7 (平成30(2018))	男 42.5 女 21.8	男 35.6 女 19.3	SHIDS（島根県健康指標データシステム）平成27（2015）～令和元（2019）年の5年
②脳卒中年齢調整初発率（人口10万対）	男 118.6 女 65.7 (平成27(2015))	男 121.9 女 61.0 (令和元(2019))	男 96.0 女 55.0	男 121.9 女 61.0 (令和元(2019))	島根県脳卒中発症者状況調査
<心疾患>					
①虚血性心疾患年齢調整死亡率（人口10万対）	男 16.3 女 7.2 (平成27(2015))	男 14.4 女 6.2 (平成30(2018))	男 15.7 女 6.6	男 13.1 女 5.3	SHIDS（島根県健康指標データシステム）平成27（2015）～令和元（2019）年の5年
②平成20(2008)年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率（40～74歳）	18.5%減 (平成27(2015))	14.9%減 (平成30(2018))	25%減	14.9%減 (令和元(2019))	特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ
<糖尿病>					
①糖尿病年齢調整有病者割合（20～64歳）	男 5.4% 女 2.2% (平成28(2016))	—	男 5.4% 女 2.2%	—	特定健康診査、事業所健康診断結果
②糖尿病腎症による新規人工透析導入割合（人口10万対）	13.5 (平成27(2015))	11.5 (平成30(2018))	8.0	8.3 (令和元(2019))	わが国の慢性透析療法の現況
③糖尿病有病者でHbA1cが8.0%以上の者の割合（20～74歳）	男 12.5% 女 10.4% (平成28(2016))	—	男 11.1% 女 7.6%	—	特定健康診査、事業所健康診断結果

＜精神疾患＞						
	現 状 (策定時)	中間実績	目 標		令和4年3月現在に おける直近把握数値	備 考
			令和2 (2020) 年度末	令和5 (2023) 年度末		
①精神病床における入院後3か月時点 の退院率	59.6% (平成27(2015))	70.3% (平成29(2017))	69.0%	71.0%	67.9% (平成30(2018))	精神保健福祉資料
②精神病床における入院後6か月時点 の退院率	77.5% (平成27(2015))	84.9% (平成29(2017))	84.0%	86.0%	82.3% (平成30(2018))	精神保健福祉資料
③精神病床における入院後1年時点の 退院率	86.7% (平成27(2015))	88.7% (平成29(2017))	90.0%	92.0%	89.0% (平成30(2018))	精神保健福祉資料
④精神病床における入院需要 (患者数)	2,170人 (平成26(2014))	1,938人 (令和元(2019))	2,009人	1,573人	1,905人 (令和2(2020))	精神保健福祉資料
④-1 精神病床における急性期 (3か月未満) 入院需要	472人 (平成26(2014))	431人 (令和元(2019))	454人	443人	402人 (令和2(2020))	
④-2 精神病床における回復期 (3か月以上1年未満) 入院需要	386人 (平成26(2014))	332人 (令和元(2019))	382人	375人	392人 (令和2(2020))	
④-3 精神病床における慢性期 (1年以上) 入院需要	1,312人 (平成26(2014))	1,184人 (令和元(2019))	1,173人	755人	1,111人 (令和2(2020))	
④-4 精神病床における慢性期 入院需要 (65歳未満)	512人 (平成26(2014))	403人 (令和元(2019))	407人	320人	385人 (令和2(2020))	
④-5 精神病床における慢性期 入院需要 (65歳以上)	800人 (平成26(2014))	781人 (平成26(2015))	766人	435人	726人 (令和2(2020))	
⑤地域移行に伴う基盤整備量 (利用者数)	—		112人	249人		患者調査、精神障 がいに係る島根県 独自患者調査等
⑤-1 地域移行に伴う基盤整備量 (65歳未満)	—		42人	101人	—	
⑤-2 地域移行に伴う基盤整備量 (65歳以上)	—		70人	147人		
＜救急＞						
①救急告示病院の数	25カ所 (平成29(2017))	25カ所 (令和2(2020))		維持	25カ所 (令和3(2021))	県認定
②救命救急センターの数	4カ所 (平成29(2017))	4カ所 (令和2(2020))		維持	4カ所 (令和3(2021))	県指定
③救急救命士の数	316人 (平成29(2017))	358人 (令和2(2020))		396人	356人 (令和3(2021))	県消防総務課 調査
＜災害＞						
①災害拠点病院の数	10カ所 (平成29(2017))	10カ所 (令和2(2020))		維持	10カ所 (令和3(2021))	県指定
②災害拠点精神科病院の数	0カ所 (平成29(2017))	1カ所 (令和2(2020))		2カ所	1カ所 (令和3(2021))	県指定
③DMATの数	20チーム (平成29(2017))	19チーム (令和2(2020))		22チーム	20チーム (令和3(2021))	県登録
＜地域＞						
①しまね地域医療支援センターへの 登録者等のうち、県内で研修・勤務する 医師数	185人 (平成29(2017))	251人 (令和2(2020))		305人	275人 (令和3(2021))	県医師確保対策室 調査
②しまね地域医療支援センターへの 登録者等のうち、医師不足地域(松江、 出雲以外)で研修・勤務する医師数	60人 (平成29(2017))	81人 (令和2(2020))		100人	99人 (令和3(2021))	県医師確保対策室 調査
＜周産期＞						
①周産期死亡数(出産1000対)	3.0 (平成26(2014)～ 28(2016)平均)	3.3 (平成29(2017)～ 令和元(2019)平均)		全国平均※ 以下を維持	4.2 (平成30(2018)～ 令和2(2020)平均)	人口動態統計
②産婦人科医師数	65人 (平成28(2016))	63人 (平成30(2018))		10%増加	63人 (平成30(2018))	医師・歯科医師・ 薬剤師統計
(参考) 妊産婦人口に対する産婦人科医の割合 (妊産婦10万対)	1,144 (平成28(2016))	1,185 (平成30(2018))		—	1,185 (平成30(2018))	(妊産婦数) 島根県周産期医療 調査による分娩数
③小児科医師数	100人 (平成28(2016))	97人 (平成30(2018))		5%増加	97人 (平成30(2018))	医師・歯科医師・ 薬剤師統計
(参考) 小児人口に対する小児科医の割合 (15歳未満人口10万対)	116 (平成28(2016))	116 (平成30(2018))		—	116 (平成30(2018))	(15歳未満人口) 総務省10月1日現 在推計人口
④助産師数	323人 (平成28(2016))	326人 (平成30(2018))		10%増加	340人 (令和2(2020))	衛生行政報告例
(参考) 妊産婦人口に対する助産師の割合 (妊産婦10万対)	5,683 (平成28(2016))	6,131 (平成30(2018))		—	7,029 (令和2(2020))	(妊産婦数) 島根県周産期医療 調査による分娩数

※平成30(2018)～令和2(2020)年の全国平均は、3.3です。

項目	現状 (策定時)	中間実績	目標	令和4年3月現在に おける直近把握数値	備考	
<小児>						
①小児科医師数	100人 (平成28(2016))	97人 (平成30(2018))	5%増加	97人 (平成30(2018))	医師・歯科医師・ 薬剤師統計	
②かかりつけの小児科医を持つ親の割合	3歳児の親 89.9% (平成28(2016))	—	95%	—	県健康推進課調査	
③小児救急電話相談（#8000）の認知度	4か月児の親 62.0% (平成28(2016))	—	90%	—	県健康推進課調査	
<在宅>						
項目	現状 (策定時)	中間実績	目標		令和4年3月現在に おける直近把握数値	備考
			令和2 (2020) 年度末	令和5 (2023) 年度末		
①訪問診療を実施する診療所・病院数	270カ所 (平成27(2015))	269カ所* (令和元(2019))	287カ所	304カ所	273カ所* (令和2(2020))	NDB(※EMITAS-G)
②訪問診療を受けている患者数	5,769人 (平成27(2015))	5,977人* (令和元(2019))	6,132人	6,496人	6,069人* (令和2(2020))	NDB(※EMITAS-G)
③退院支援ルールを設定している二次 医療圏域数	3圏域 (平成29(2017))	5圏域 (令和2(2020))	7圏域	7圏域	5圏域 (令和3(2021))	県医療政策課把握
④在宅療養後方支援病院数	4カ所 (平成29(2017))	5カ所 (令和2(2020))	7カ所	7カ所	5カ所 (令和4(2022))	中国四国厚生局把握
⑤在宅療養支援病院数	7カ所 (平成29(2017))	7カ所 (令和2(2020))	9ヶ所	9ヶ所	7カ所 (令和4(2022))	中国四国厚生局把握
⑥在宅看取りを実施している診療所・ 病院数	110カ所 (平成27(2015))	102カ所* (令和元(2019))	114カ所	118カ所	112カ所* (令和2(2020))	NDB(※EMITAS-G)
⑦24時間体制を取っている訪問看護 ステーション数	58カ所 (平成27(2015))	70カ所 (平成30(2018))	60カ所	79カ所	86カ所 (令和3(2021))	介護サービス施 設・事業所調査
⑧機能強化型訪問看護ステーション数	0カ所 (平成29(2017))	3カ所 (令和2(2020))	1カ所	3カ所	4カ所 (令和4(2022))	中国四国厚生局把握
⑨訪問歯科診療を実施する歯科診療所数	102カ所 (平成26(2014))	109カ所 (平成29(2017))	106カ所	109カ所	109カ所 (平成29(2017))	医療施設調査
⑩在宅療養支援歯科診療所数	116カ所 (平成29(2017))	87カ所 (令和2(2020))	120カ所	124カ所	87カ所 (令和4(2022))	中国四国厚生局把握
⑪訪問薬剤指導を実施している事業所数	88カ所 (平成29(2017))	159カ所 (令和元(2019))	91カ所	203カ所	159カ所 (令和元(2019))	介護データベース